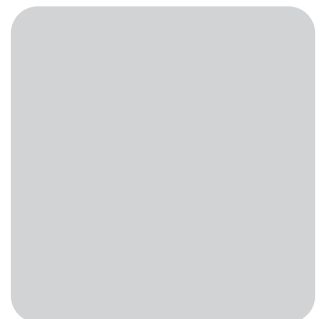




EXHIBITION



EXPERIENCE



メロウ・シンポジウム2003 展示・体験コーナー出展者一覧

NTTコミュニケーションズ株式会社	パネル、パソコンでの展示 次世代型多目的利用ICカード「eLWISE」のご紹介
スズキ株式会社	パネル展示 スズキセニアカー(高齢者向け電動車椅子)の展示
株式会社東芝 東芝ロケーションインフォ株式会社	パネル、パソコンでの展示 ご家族をお守りする緊急通報装置の展示
株式会社日立製作所 株式会社日立ケーイーシステムズ	パネル、パソコンでの展示
株式会社ピンチェンジ	ペット型ロボットの展示。ゲームキューブ対応「お遍路さん」 (高齢者福祉ゲーム)の展示
富士通株式会社 株式会社富士通パーソナルズ	パネル展示 らくらくパソコン「FMVL20CH」のご紹介
三菱電機株式会社 三菱電機エンジニアリング株式会社	パネル、パソコンでの展示 超指向性スピーカーシステムのご紹介
日本ビクター株式会社 AV&マルチメディアカンパニー	パネル、パソコンでの展示 音声がゆっくり聞き取れる「ユニバーサルラジオ」のご紹介
有限会社ピーシーワークス	障害児相談事業情報化システムのデモ展示
財団法人健康・生きがい開発財団	パネル、パソコンでの展示 「さまざまな分野で活躍する生きがい情報士たち」 「健康生きがいづくりアドバイザー」
財団法人シニア ルネサンス財団	パネル展示 「今から考えよう! 安心できるシニアライフ」 ～ほんとは身近な「成年後見制度」～
日本ウエルエージング協会	パネル展示 高齢者疑似体験プログラム「インスタントシニア」装具
キャリア・コンサルタント協同組合	パネル、パソコンでの展示 活動のご紹介
社団法人日本フィランソロピー協会	パネル、パソコンでの展示 視覚障害者のための「音訳パーソナルサービス」のご紹介
財団法人ニューメディア開発協会	パネル、パソコンでの展示 「シニア情報生活アドバイザー制度」、「メロウサエティ 構想の推進経緯」





NTTコミュニケーションズ株式会社

メロウ・シンポジウム2003

次世代型多目的利用ICカード「eLWISE」

— 大容量、高速、高セキュリティで多目的利用に最適 —

期待 目

- 1Mバイト以上の大容量がアプリケーションをより多目的に活用可能
- 非接触ICカードのインターフェイスを標準とし、多様なカードに柔軟に対応
- 最新規格 (ISO14443 TypeB) の規格を対応でき、国際標準を達成
- 高セキュリティ、高セキュリティを実現

期待 効果

- 多目的利用のICカードで、電子マネーなどの用途に統一
- 電子マネーを中心とした決済サービス
- 電子マネーがインターフェイス
- 大容量、高速、高セキュリティを実現可能な多目的利用ICカード

様々なサービスを1枚のカードで実現！

メロウ・シンポジウム2003

次世代型多目的利用ICカードプラットフォーム

— eLWISEカード情報流通のしくみ —

様々なビジネスに対応するサービスの提供、利用を安全・低コストに実現

期待 目

- 多目的利用のICカードで、電子マネーなどの用途に統一
- 電子マネーを中心とした決済サービス
- 電子マネーがインターフェイス
- 大容量、高速、高セキュリティを実現可能な多目的利用ICカード

スズキ株式会社

新しい世界 全線は免許

七人アカーに 標準1箱タイプ 新登場

スズキセブニアカー

3674C

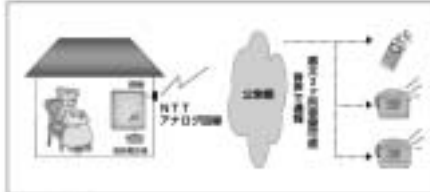
全長	全幅	全高	最大積載量	最大走行速度
2,100mm	1,100mm	1,100mm	700kg	25km/h

株式会社東芝 東芝ロケーションインフォ株式会社

M メロウ・シンポジウム2003


緊急通報装置

ご家族を見守りする緊急通報装置です。宅内から緊急通報ができます。




特徴

- 緊急時に、家族などの連絡先に通報をすることができます。
- 通報時は、着せかえ機能により宛先まで発信することができます。
- 常に家族のM-TT電話記録（アラログ）を利用することができます。
- もちろん、電話機はそのまま利用できます。
- 通常の無線通話できるペンダント型子機を持っていると、家の中でいつでも緊急時の通報が可能です。（注）
- ペンダント型子機を利用して、無線の応答がエックでもできます。



緊急（緊急通報装置）
（型番：EC2001）



ペンダント型子機
（型番：LC200）

東芝ロケーションインフォ株式会社

株式会社日立製作所 株式会社日立ケーイーシステムズ

高齢者利用に配慮したパソコン 「心友」 Personal Computer "Shin-Yu" for the Elderly

キーボード操作なしで使え、大きな文字表示

① パソコン初心者のために、操作簡単な文書作成・電子メールソフトを提供



文書作成ソフト



電子メールソフト

② キーボード操作を支援する機能をご利用



大きな文字表示



大きなカーソル

③ マウスやキーボード操作を記録する「操作行」や遠隔地から操作支援をサポート

（株）日立ケーイーシステムズ

三菱電機株式会社 三菱電機エンジニアリング株式会社

M メロウ・シンポジウム2003

超指向性スピーカーシステム

「開かれた場所だけに音を届けられる」システムです！
「音の出ている方向がはっきりわかる」システムです！

特徴

従来のスピーカーとは異なった指向性に基づいたスピーカーです！
 どの方向にも音が届くように設計することができます！
 従来のスピーカーに比べ指向性が鋭く音の伝わりやすさを向上させることができます！
 最新技術の音場可変システムにより、音場に合わせて音場を再現します。

超指向性スピーカーシステム (約 1,000 Hz)
 音の伝わりやすさを向上させることができます！

メリット

- ◆開かれた場所だけに音を届けられるので、全体の静寂化が可能となります。
- ◆異なった音源場内を複数同時に送ることが可能となります。
- ◆聴覚障害者の方々に明確な案内が可能となります。

応用

公共施設利用時に

視覚障害者の方々に案内時に

聴覚障害者の方々に案内時に

三菱電機エンジニアリング株式会社

日本ビクター株式会社 AV&マルチメディアカンパニー

M メロウ・シンポジウム2003

新たな「聞こえてきますか？」 新たな「聞こえ」をサポートします

音の可聴範囲

音の可聴範囲を拡張

音の可聴範囲を拡張

音の可聴範囲を拡張

音の可聴範囲を拡張

M メロウ・シンポジウム2003

高齢化の進展 - 2005年には5人に1人が65歳以上 -

◆国内の人口増加 (2000年)

◆高齢化の進展 (2005年)

◆高齢化の進展 (2005年)

◆高齢化の進展 (2005年)

聴覚補聴の技術が製品になりました！

ユニバーサルラジオ

音の可聴範囲を拡張

音の可聴範囲を拡張

音の可聴範囲を拡張

音の可聴範囲を拡張

財団法人 ニューメディア開発協会

メロウ・シンポジウム2003

第2期メロウ・ソサエティ構想

趣旨

- 経済発展期の到来による「高齢社会対策及び情報化推進」
- 情報化と高齢化のベストミックスを追求した活力ある「高齢社会情報化推進」の実現。
- 主として、ITインフラ・インターネットを活用した社会参加型を推進

活動期間

- 2003年(平成15年度)起程(第1期:平成14年度~15年度)

推進体制

- 平成14年4月1日~平成14年12月31日 メロウ・ソサエティ・フォーラム
- 平成14年4月1日 財団法人ニューメディア開発協会

主な活動

- 情報システム活用型シニア・ベンチャー支援事業/市民ベンチャー
→シニアの方々の社会活動の機会拡大
- 高齢者に優しい機器・システム等に関する調査研究
→シニアの方々に優しい機器・システム等の開発促進
- 高齢者の活動拠点及び高齢者活動拠点の情報化に関する調査研究
→シニアの方々の多く集う公共施設等の地域社会の活動拠点の情報化促進
- シニア情報生活アドバイザー制度の推進
→シニアのITやインターネットの正しい活用を促すシニアを支援する制度
- 高齢者向け電子商取引(メロウ・ワイフ・ストアエブ)推進
→インターネットでシニアの活々も楽しい買い物ができる
- シンポジウムやネットワーキング・カンファレンス等の開催
→世代間の先進的な活動や考え方の紹介

メロウ・シンポジウム2003

財団法人ニューメディア開発協会

事業目的

- 昭和47年5月設立、人間的豊かさと高度情報化社会構築を推進す
- 経済発展期のニューメディア/フロンティア領域の推進
- 先進的IT社会システムの開発

組織図

推進目的

- 先進的情報システムの技術開発/実証実験
→インターネットにおけるシステム構築/実証実験
→ITサービスの技術開発 → 新社会システムの開発推進
- 地域情報化の推進
→ニューメディア/コミュニティ発信 → 情報化推進型地域
→メロウ・ソサエティ構想 → 広域システム等社会システム構築
- ITサービスの普及促進によるIT活用型市民事業
→札幌市等全国7地域でITサービス実証実験推進
- 福祉情報化推進
→介護・子育て支援に於ける革新的ITサービス提供を促進するIT活用事業 →

メロウ・シンポジウム2003

シニア情報生活アドバイザー制度

あなたも「シニア情報生活アドバイザー」になってみませんか
また、「シニア情報生活アドバイザー」の養成にご協力下さいませんか

目的

シニア情報生活アドバイザーを養成、「高齢者の活躍を促す」
“生活の中でIT/インターネットの活しどや活用を促せる”ことにより、
高齢者の情報リテラシー向上や社会参加活動を促進を図る

アドバイザー制度概要

アドバイザーの養成

- 養成講座の開催
受講料、教材等の負担
アドバイザー活動組合の設立
- 養成講座後の実務
教材費・受講料の納入
- アドバイザー活動の支援
アドバイザー活動の指導
教材の提供・貸出
コミュニティ、資料の提供
アドバイザーの活動支援

アドバイザー活動の支援

※アドバイザー活動の推進
●福祉情報化推進、高齢者支援、IT/インターネット活用
●高齢者向け電子商取引(メロウ・ワイフ・ストアエブ)推進
●地域情報化推進、高齢者支援、IT/インターネット活用

アドバイザー活動の推進

- メロウ・ワイフ・ストアエブ活用
- IT/インターネット活用
- 高齢者向け電子商取引(メロウ・ワイフ・ストアエブ)活用
- 地域情報化推進

現状 → 2000年10月より全国に展開中

- シニア情報生活アドバイザー数 742名(平成18年3月末時点)
- 養成講座実施回数 42回(平成18年3月末時点)

メロウ・シンポジウム2003

メロウソサエティ構想の推進経緯

(メロウ・ソサエティ・フォーラム/財団法人ニューメディア開発協会)

事業名	開始	終了
メロウ・ソサエティ・フォーラム	2000年	2003年
シニア情報生活アドバイザー制度	2000年	2003年
メロウ・ワイフ・ストアエブ	2000年	2003年
地域情報化推進	2000年	2003年
高齢者向け電子商取引	2000年	2003年
IT/インターネット活用	2000年	2003年
高齢者支援	2000年	2003年



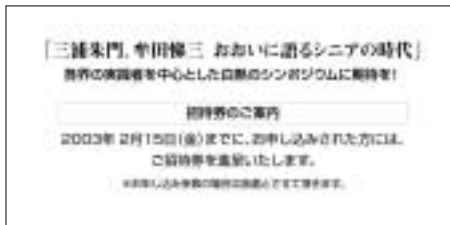
ご案内状



ご招待券



ホームページ



ご案内DM・封筒



プログラム

www.nmda.or.jp



ニューメディア協会



メロウ・福祉情報化のご紹介



シニア情報生活
アドバイザー制度



お役立ち情報コーナー



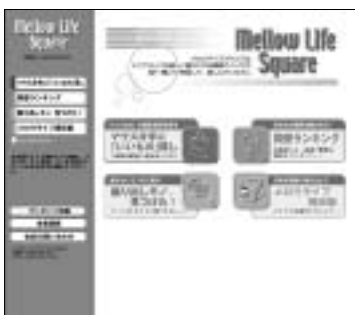
シニアベンチャープラザ



こころWeb



日本のシニアネット



メロウライフスクエア



悠々熟年広場



子育てネットワーク

編集・発行

財団法人 ニューメディア開発協会

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル23階

電話：03-3454-8541 FAX：03-3454-8477

発行日2003年3月

この報告書は競輪の補助金を受けて製作いたしました。



禁無断転載・複写複製



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。